



平成 23 年 4 月

社団法人 兵庫県建築士会神戸支部

ぱ ね る **41**

2011 年 3 月 11 日に東日本で発生した大地震におきまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。建築士会として今後どのようにご協力出来るかを考えて活動して参りたいと考えております。

社団法人兵庫県建築士会神戸支部 理事会

支 部 長 挨拶

会員の皆様方には建築士会活動にご支援をたまり厚くお礼申し上げます。皆様方とともに歩んできた神戸支部は、来年度平成 24 年に創立 50 周年を迎えメインテーマに「わ」を選びました。今年度から始まります 50 周年に向けてのプレイベントとして、住まいスクール（情報企画）委員会・研修委員会・青年部会ではさまざまな「わ（和、輪、環、倭・・・）」の企画を用意しています。どんな「わ」に出会えるかご期待ください。皆様方の積極的なご参加ご協力をよろしくお願いいたします。

創立 40 周年記念誌の中に「情報化社会を迎え、神戸支部でもかねてより懸案のインターネットによるホームページを立ち上げました。」とあります。その後、会勢委員会と事業委員会の二委員会の機能をまとめ情報企画委員会が誕生しています。その委員会も 10 年の歳月を経過することなく、この度「住まいスクール委員会」と名称を改めることとなります。急激な進歩を続けてきた IT 産業の影響か、「情報」という言葉からはコンピューターに関連する情報という印象が強く、本来の活動内容を現す名称として住まいスクール委員会に変更となります。一部の技術者にしか使うことの出来なかったコンピューターがパーソナルコンピューターとして普及することにより、また、あらゆることが情報として扱われることにより、たやすく情報を集められる時代となっています。このような時代の中にあって皆様に迅速で且つ的確な情報を発信することが、建築士会の責務であると考えます。ホームページなどによる発信をどうぞ最大限にご活用ください。

委員会名称の変更により新たな神戸支部の活動が始まります。総務委員会をはじめ住まいスクール委員会・研修委員会・青年部会による情報収集、情報発信にご期待ください。そして、事業に参加するだけでなく、一緒に企画することに興味のある方は是非とも委員会にご参加ください。（武野 朋子）

21・22 年度役員

支部長	<u>武野 朋子</u>
副支部長	<u>戎 孝之</u> <u>田中 義之</u> <u>長谷川 清</u> <u>前川 象二郎</u>
理 事	<u>荒川 直樹</u> 大塚 正 木戸 芳朗 木山 正典 <u>久宝 弘幸</u> 湖亀 一登 佐々木 博司 佐々木 康行 常俊 桂子 <u>常峰 博文</u> <u>日高 俊二</u> 藤原 路弘 三島 悦子 宗政 安俊 矢代 恵 安水 正
監 事	加藤 恒郎 瀬川 良一
顧 問	奥田 晃一 野崎 瑠美 水谷 忠清

※_____は常任理事

総 務 委 員 会

総務委員会では各委員会の事業の調整、年度予算案の作成、会計のほか、広報活動としてホームページの運用なども行っています。今年度は支部創立 50 周年を迎える準備、建築士会の公益法人化とさまざまな案件がありますが、各委員会と連携して活発な活動を行っていきたいと考えています。

【22 年度メンバー】

担当副支部長	田中 義之
委 員 長	久宝 弘幸
副委員長	宗政 安俊
	宮本 佳尚
委 員	赤澤 祥語
	三島 悦子
	堀川美智代
	湖亀 一登



22 年度総会での挨拶

情報企画委員会

建築士と市民をつなぐ

当委員会は設立以来、建築士と市民の交流を主目的に活動を行っています。主に神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）と協賛した事業を行っており、行政と連携した楽しい事業を通しての人付き合いがあるのが特徴です。建築士として人脈の幅を広げたいと思っている方は一度、委員会を覗いてみませんか。たくさんの参加をお待ちしています。

平成22年度委員会メンバー

担当副支部長：長谷川 清

委員長：日高俊二

副委員長：横田佳史、常俊桂子

委員：木山正典、高橋眞治、山際洋子、
金岡正一、木下 功、三島悦子

協力委員：水谷忠清、野崎瑠美、田中嘉之

委員の声

<22年度事業に参加して>

情報企画委員会で超ロングセラーを記録している事業が、建築たうんウォッチングです。一般の方々にも定着してきて楽しみにしてくださる方が増え、うれしく思っています。普段なかなか見学できないところを見られたり、建築的な視点からの解説があったりということで、今年度も大勢の方に参加していただきました。今回は「阪神間の名建築と紅葉の里山を巡る」と題してバスで阪神間をめぐりましたが、天候にも恵まれ主催者、参加者ともに有意義な1日を過ごすことができました。主催者側の参加ということで手前味噌にはなりますが、毎年お昼に振舞われるお弁当が何ともおいしいのです。公園の暖かい陽だまりの中で食べた味はこれまた格別。参加者同士のおしゃべりにも花が咲き、笑顔がこぼれて、「また次回もお目にかかりましょう。」と再会を約束する方々もおられました。

また夏休みには『驚き・発見！みんなでつく

ろう土の家』と題して西神中央の神戸市埋蔵文化財センターで親子セミナーを開催しました。古代の生活の様子や建築の構造実験等を食い入るように見つめ、その後、粘土で思い思いの“家”を作った子供たちは満足そうでした。私も粘土の家造りに挑戦しましたが、時間を忘れて夢中になったのは子どもたち以上だったかも。保護者も楽しそうで、中には子どもよりがんばった方も。普段の生活では、親子で創作活動に興ずることはないでしょうから、いい1日になったと思います。私の娘が子どものころにこんな企画があったら絶対親子で参加したのに！

もうひとつの参加事業は、神戸市北区の“内田家”で行った“我が家に活かす古民家の知恵”と副題のついたイベントです。一般参加者の積極的なワークショップで盛り上がり、振舞われた温かいぜんざいで心もホッとしたものです。

建築士会では委員会に所属しているおかげで“ただ参加する”だけではない一味違った楽しみ方が出来ることをありがたく思っています。他の会にも席をおいていますが、“ただ会費を払っているだけ”になっているような状態のものもあり、所属している面白みを味わわずにいます。

積極的に活動すると、人の輪も広がりますし、色々な経験もできますので、士会に籍を置きながら活動されていない方は、無理をせず時間の都合がつく範囲で委員会等に所属し、主催者側の立場でかかわる楽しみを持たれるのもいいのではないのでしょうか。（山際 洋子）

<我が家に活かす古民家の知恵。みんなで考えよう。茅葺き民家のリフォーム提案>

表題のワークショップが平成22年5月23日に実行された。当日は朝から荒れ模様の天気。風雨の中にも市民の方が熱心に参加くださった。鈴蘭台駅より歩いて約20分で内田家に到着、ワークショップの始めに神戸市教育委員会文化財

課学芸員による現存する文化財古民家や旧内田家の説明を受けた。内田家住宅は伝統的な日本の茅葺き民家で、江戸時代の中ごろ（約 250 年前）に建てられた。4 つの竈（カマド）をもつ庄屋の住宅である。本来天気であれば外部も含めて参加者に十分見学をしていただくところだが、あいにく当日は風雨ともきつく、屋内でのワークショップとなった。

内田家の説明が終わったあと、情報企画委員会委員より建具の話があり、歴史を追って建具の遍歴を説明いただいた。建具の原型は、屏風や衝立にあるといわれています。寝殿造りといわれる平安時代の貴族の住宅では板戸であったが、平安後期になると採光のための明り障子も用いられるようになる。江戸時代には建具はデザイン的な組子や細工が施されるようになり意匠の要となる。

明治になって海外の技術が導入されると、建具にガラスや戸車が利用されるようになる。住宅の形態も洋間を継ぎ足した形の住宅が現れ、ガラスを多用した建具が数多く使用されるようになる等の説明を受け、参加者は熱心に耳を傾けていました。

レクチャーの合間に、かまどに火を入れ お湯を沸かし、お餅を囲炉裏で焼き、ぜんざいを召し上がっていただきました。日常生活ではスイッチひとつで煮たき物ができるが、かまどでは炎の安定に少しのコツが入るようで吹き竹の使い方も、煙に咽び息苦しくなります。5 月といえども肌寒く、温かいぜんざいは参加者の皆さんに好評でした。

その後、参加者は各班に分かれて内田家で長く生活するにはどの様なリフォームがよいか、古民家の知恵を現代の暮らしに取り入れる方法など、建築士をまじえて討論した。いろんなアイデアを班別に考えて発表していただいた。その中から伝承する家（三代仲良く暮らし、技術を伝承できる家）が優秀案に選ばれた。参加者の皆さんの創造性はすばらしく、生活ぶりが浮び上がる様でした。発表内容も豊富で予定の時間も、短く感じられました。皆さんも満足そうに内田家を後にしました。（田中 嘉之）

<今年度を振り返り>

情報企画委員会では設立当初より、“建築士と考えるすまいスクール”と名うって、すまいを題材にした講習会、見学会、ワークショップなどを行ってきました。平成 22 年度は古民家：内田家住宅（県指定重要文化財）を舞台に「我が家に活かす古民家の知恵」～みんなで考えよう。茅葺民家のリフォーム提案のタイトルにてワークショップを行い、夏休み親子セミナー「驚き・発見！みんなでつくろう土の家」のタイトルにて小学生の親子が粘土で思い思いの家を作成し、見学会は西宮～六甲山にかけて阪神間の名建築と紅葉の里山を回りました。どの事業も市民の皆様とふれあう機会ができ、楽しい時間を過ごせました。これは委員会のメンバーの皆様、神戸市すまいの安心支援センター“すまいるネット”の皆様、神戸支部の皆様の協力とご支援により行うことができました。厚く御礼申し上げます。

また、一方で情報企画委員会という名前を聞いて、何をしているのかがよくわからないという声も耳にしました。そこでメンバーで話し合い、平成 23 年度より『すまいスクール委員会』と改名することになりました。これからも市民と建築士を繋ぐ事業を行い、建築の素晴らしさや、活動の楽しさを皆様と共有し、大人から子供まで楽しめる事業を行ってゆきたいと思います。今後もより一層、皆様のご指導・ご支援をお願い致します。

（日高 俊二）

建築士と考える住まいスクール2010 〈永く住み続けられる住まい〉
「我が家に活かす古民家の知恵～みんなで考えよう。茅葺き民家のリフォーム提案」

あえて中古住宅をリノベーションする。そんな自分スタイルにこだわる若い世代が、家族構成や好みの変化、住宅設備等の進歩に合わせて、形を変えながら住み続けられる家があれば…。今回はフレキシビリティに着目。可変性に優れた伝統的な日本家屋を自分たちの暮らしに合わせたスタイル(間取り)に変えるワークショップを行い、一般市民と建築士それぞれの立場から検証しました。

開催日：平成22年5月23日(日) 13:30～16:30 天候 雨

会 場：旧内田邸(北区鈴蘭台西町6丁目 / 神戸電鉄鈴蘭台駅徒歩20分)

(江戸時代中期の茅葺民家 / 県指定重要文化財)

参加者：一般市民16名(神戸市北区役所職員2名、読売新聞記者1名含む)

スタッフ：兵庫県建築士会神戸支部情報企画委員会 11名、
神戸市教育委員会文化財課 3名、すまいるネット 2名



内田家外観

1) 内田家住宅の説明、スケジュール説明

- ・神戸市教育委員会文化財課学芸員による現存する文化財古民家・旧内田家の説明。
- ・情報企画委員会委員による伝統的な日本家屋の特徴である建具についての講義。



内田家の説明

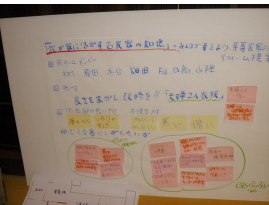


建具についての講義

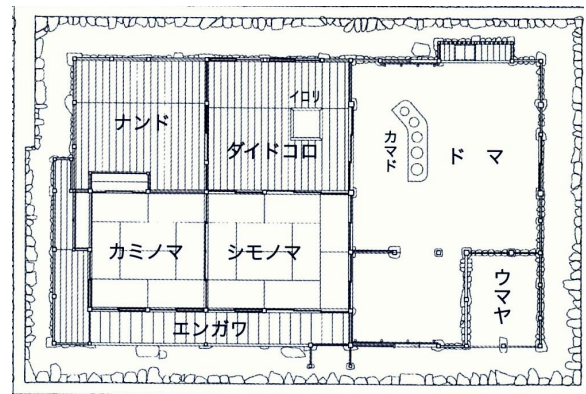
2) ワークショップ

班分け(4班)後、平面図を持って伝統的な日本家屋に触れながら、内部を探索。自分たちのスタイルにあった間取り変更のイメージを膨らませてもらいました。

「旧内田家に住むとしたらどのように改修するか」
永く住み続けられる住まいづくりについて、伝統的な日本家屋・古民家の知恵を自分たちの暮らしに合わせ現代の家に取入れる方法など、建築士を交えて、自由、活発に話し合っていました。



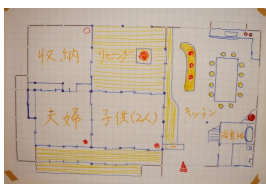
カマドでお湯を沸かし、イロリで餅を焼く



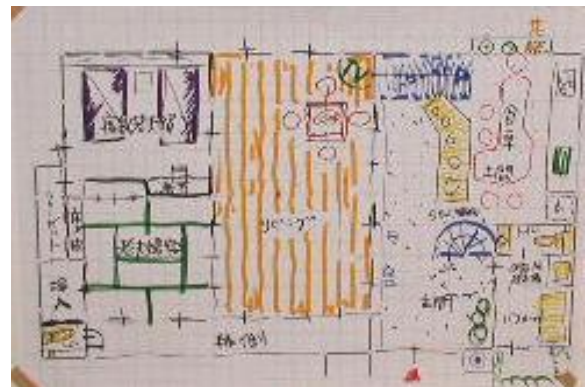
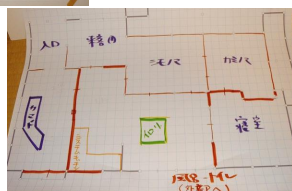
3) 自由討議の検証

「ぜんざいタイム」をはさみ、古民家のリフォーム案を各班の代表者が発表し、各案について参加者と建築士が意見交換し、検証しました。

班毎のワークショップ記録を掲示、参加者スタッフ全員による投票で、「伝承する家」～3代仲良く暮らし、技術を伝承できる家～がBEST PLANに選ばれました。



他3班のプラン

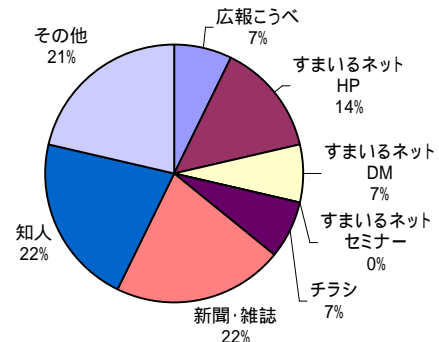


我が家に活かす古民家の知恵 アンケート集計結果

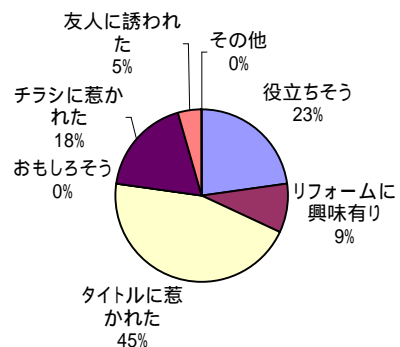
日時 2010年5月23日
場所 内田家住宅 神戸市北区鈴蘭台西町

分類		項目	実数	割合	
受講者		定員	25		
		申込者数	21		
		参加者数	16		
		アンケート回収数	14	87.5%	
性別		男性	6	42.9%	
		女性	8	57.1%	
年代		～29歳	2	14.3%	
		30歳代	2	14.3%	
		40歳代	4	28.6%	
		50歳代	2	14.3%	
		60歳代	4	28.6%	
		70歳～	0	0.0%	
職業		主婦	2	14.3%	
		無職	2	14.3%	
		会社員・公務員	4	28.6%	
		自営業	2	14.3%	
		その他	4	28.6%	
認知媒体		広報こうべ	1	7.1%	
		すまいるネットHP	2	14.3%	
		すまいるネットDM	1	7.1%	
		すまいるネットセミナー	0	0.0%	
		チラシ	1	7.1%	
		新聞・雑誌	3	21.4%	
		知人	3	21.4%	
参加理由 (複数回答)		その他	3	21.4%	
		役立ちそう	5	35.7%	
		リフォームに興味有り	2	14.3%	
		タイトルに惹かれた	10	71.4%	
		おもしろそう	0	0.0%	
		チラシに惹かれた	4	28.6%	
		友人に誘われた	1	7.1%	
感想		その他	0	0.0%	
		満足度	満足	10	71.4%
			やや満足	4	28.6%
			やや不満	0	0.0%
			不満	0	0.0%
		役立度	役に立った	9	64.3%
			やや役に立った	2	14.3%
			やや役に立たなかった	0	0.0%
			役に立たなかった	0	0.0%
		理解度	無回答	3	21.4%
			大変分かりやすかった	6	42.9%
			分かりやすかった	6	42.9%
			ややわかりにくかった	0	0.0%
		興味分野 (複数回答)	わかりにくかった	0	0.0%
無回答	2		14.3%		
住宅の維持管理・修繕	4		28.6%		
リフォーム	5		35.7%		
住宅購入や賃借の契約	1		7.1%		
防犯・安全	3		21.4%		
耐震・防災	2		14.3%		
バリアフリー・UD	4		28.6%		
家づくりのノウハウやアイデア	5		35.7%		
すまいの緑化	3		21.4%		
省エネ・環境・エコロジー	省エネ・環境・エコロジー	2	14.3%		
	すまいの歴史・文化	6	42.9%		
	まち歩き	2	14.3%		
	マンション管理	0	0.0%		

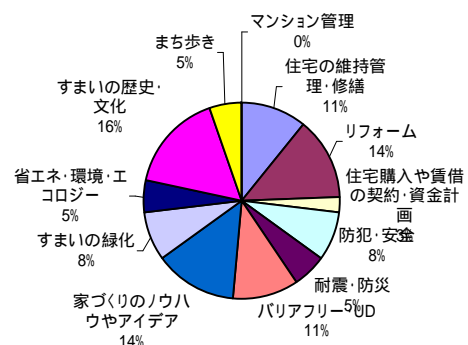
認知媒体



参加理由



興味分野



自由記入
感想

古民家の歴史、構造など勉強になった。ワークショップの進め方が参考になりました。ぜんざいごちそうさまでした。おぜんざいがとてもおいしかったです。楽しい一日でした。ありがとうございました。今度はおにぎりで。

勉強になり良かったと思います。

建具のお話がおもしろかったです。

勉強になりました。ありがとうございました。

興味分野

古民家を現在のすまいに・・・

夏休み親子セミナー

「驚き・発見！ みんなでつくろう土の家」 報告

開催日時：平成 22 年 8 月 21 日(土)13：30～17：00

開催場所：神戸市埋蔵文化財センター

参加費：500円(材料代)

参加人数：子供9名、保護者6名、計15名（スタッフ14名）

講師：埋蔵文化財センター 山口学芸員

兵庫県建築士会神戸支部情報企画委員会 山際、横田

内容：1) 第1部 / 縄文・弥生時代の生活とすまいの解説

2) 第2部 / クイズと実験

3) 第3部 / 「土の家」制作・作品発表 他

兵庫県建築士会神戸支部情報企画委員会では、昨年に引き続き「夏休み」期間中の親子参加事業を企画しました。準備期間も限られたなかで、スタッフはクイズ作成や実験に工夫を凝らし、土の家作成の材料調達や準備に奔走しました。

以下に当日の様子をお伝えします。

第1部

埋蔵文化財センターの学芸員山口様に縄文時代や弥生時代のすまいについて分かりやすい説明をしていただきました。当時から土の断熱性や蓄熱性を利用したすまいであることを説明していただきました。

また、竪穴式住居の茅の上に土をのせ、耐火性を確保していたと思われる、といった仮説も披露していただきました。



第2部

建物に使われる材料に関するクイズを出し、子供達に答えてもらいました。また、昆虫の巣や日本を含め世界各地にある、土を素材としたおもしろい家を紹介しました。クイズでは子供から積極的に答えを引き出すことができ、有意義な時間が過ごせたと思います。



続いて、条件の異なるいくつかの細長い板に重りを載せ、たわみ方にどのような違いがあるか、また牛乳パックを利用して筋交いの効果を確認する実験を行いました。子供達から質問が相次ぎ、実験終了後もその場に残り、子供達の質問に少々戸惑いながらも、講師が応えている姿は新鮮に映りました。



薄板を使ったたわみ実験の様子



牛乳パックの実験の様子

第3部

子供達お待ちかねの「土の家」の制作です。当初の予定は屋外での制作でしたが、猛暑が続いており、熱中症対策のため会場をエントランスロビーに変更して実施しました。また、保護者の方々にも「土の家」の制作に参加していただきました。子供も親も、「土の家」制作に夢中でした。できあがった作品は一人ずつ皆さんの前で披露し、どんなテーマで作成したのか、どんなところを工夫したのかを発表していただきました。その後、貫頭衣（弥生時代の服）を着て作品を持ち写真撮影を行いました。そして、その写真を「土の家博士」認定証に貼り付け、子供達に授与しました。



「土の家」作成中です。さてどんな家が出来ののかな？



貫頭衣を着る子供達

作品を持って記念撮影



子供達による作品発表

「土の家博士認定書」の授与

セミナーのまとめとして、子供達が大きくなって家を建てる時、地震に負けない安全な家、身体に優しく病気になるない快適な家、創意工夫のある自分らしい家造ることを伝えました。どの子も帰り際には満面の笑みを浮かべ「ありがとう」「楽しかった」と言ってくださり、事業の成功を実感するとともに疲れも吹き飛んでしまいました。

最後に、会場を提供してくださった上に、急な変更にもいろいろと対応していただきました埋蔵文化財センターの皆様、事前の準備から当日の段取りに至るまでご協力いただいたすまいるネットの皆様へ、心よりお礼申し上げます。



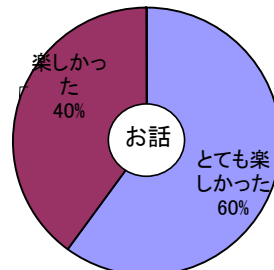
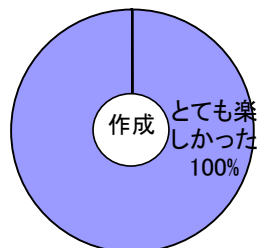
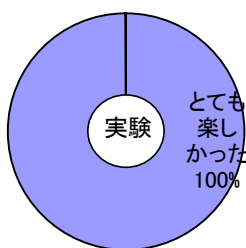
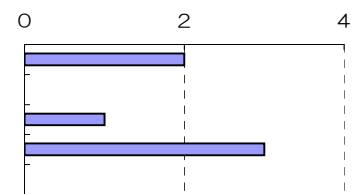
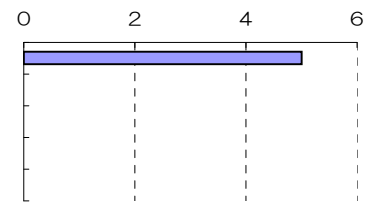
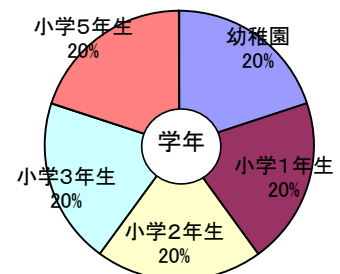
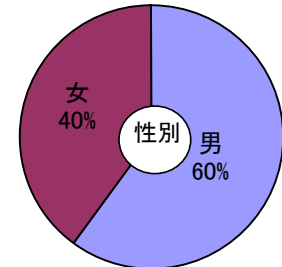
子供達がつくった「土の家」を少しだけお見せします

驚き・発見！みんなでつくろう土の家

日時 平成22年8月21日(土) 13:30~17:00
 場所 埋蔵文化財センター
 講師 (社)建築士会 神戸支部 情報企画委員会



分類	番号	項目	実数	割合
子どもの参加者数			9	
大人の参加者数			6	
合計			15	
アンケート数			5	33%
性別	1	男	3	60%
	2	女	2	40%
何年生？	1	幼稚園	1	20%
	2	小学1年生	1	20%
	3	小学2年生	1	20%
	4	小学3年生	1	20%
	5	小学4年生	0	0%
	6	小学5年生	1	20%
	7	小学6年生	0	0%
	8	中学生	0	0%
お話・・・？	1	とても楽しかった	3	60%
	2	楽しかった	2	40%
	3	あまり楽しくなかった	0	0%
実験は・・・？	1	とても楽しかった	5	100%
	2	楽しかった	0	0%
	3	あまり楽しくなかった	0	0%
作るのは・・・？	1	とても楽しかった	5	100%
	2	楽しかった	0	0%
	3	あまり楽しくなかった	0	0%
周知媒体	1	広報こうべ	5	100%
	2	家族が熱い一週間HP	0	0%
	3	すまいるネットHP	0	0%
	4	すまいるネットのDM	0	0%
	5	その他	0	0%
すまいるネットを・・・	1	知っていた	0	0%
	2	聞いたことはあった	2	40%
	3	知らなかった	3	60%
参加のきっかけ	1	作るのが好きだから	2	40%
	2	家ではできないから	0	0%
	3	宿題になるから	1	20%
	4	楽しそうだから	3	60%
	5	その他	0	0%



《したいことや感想》

- たてあなじゅうきょを作りに行きます
- いっぱいたのしかったです。
- たてあなじゅうきょをつくってみたい
- 木の家を作ってみたい
- 火おこし

《2010年第3回建築士と考える住まいスクール》
『阪神間の名建築と紅葉の里山を巡る建築たうんウォッチング』

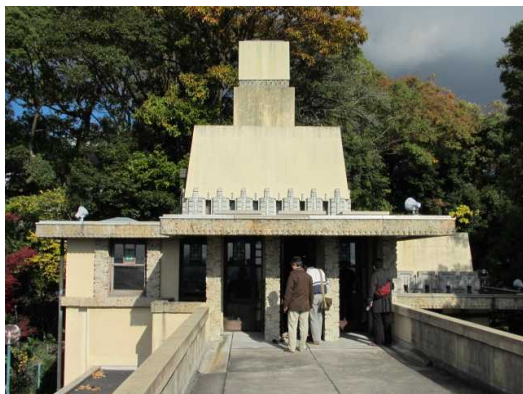
暖かい日差しが晩秋のすがすがしさを呼び起こし、まさに遠足日和という平成22年11月27日（土）『阪神間の名建築と紅葉の里山を巡る建築たうんウォッチング』を開催しました。参加者は総勢50名。（社）兵庫県建築士会神戸支部情報企画委員会の7名が案内人をつとめました。

9時30分にJR摂津本山駅をバスで出発し、10分足らずで深江文化村へ。ここは、大正13年から昭和初期に造られた“文化村”で、当初約2500坪の開発敷地の中央に400坪ほどの中庭が設けられ、それに面して洋風の住宅郡が配置されていました。現在は当時と比べると様相は変わってしまいましたが、今なおその一画はゆったりとした雰囲気醸し出しています。現存する住宅の1つである富永邸（非公開）を見学させていただいたのですが、期待通り、まさに築90年の風格と気持ちのよさを兼ね備えたお宅でした。住まい手が“家”をこよなく愛し、住まうことを楽しんでいらっしやる様子がストレートに伝わってきて感動しました。笑顔で私たちを迎えてくださり、住まいの工夫や思いを話していただきました富永様には心から感謝します。



深江文化村「富永邸」

その後、芦屋の『旧山邑邸（現ヨドコウ迎賓館）』に向かいました。大正5年頃ライトが山邑氏から依頼されて基本設計をしたにもかかわらず、帝国ホテル建設上のトラブルからアメリカへ帰国したため実施設計を担当したのはライトに師事した遠藤新と南信だったそうです。山邑氏は別荘としてこの建物を建てたそうですが、思いのほか湿気が多かったそうで、あまり使わなかったのですって。ああ、もったいないと思わずつぶやいてしまいました。やわらかい大谷石をふんだんに使い、細部にまでデザインを施し、なかなか重厚な趣のある建物でした。ここは一般公開されているのでまだ見学されていない方はぜひ行かれるといいと思います。



ライトが基本設計した「旧山邑邸」

次に西宮の『ギャラリー小さい芽』と『浦邸』へ。

ギャラリー小さい芽は震災後の安藤忠雄設計のギャラリーです。地域の人が元気になるようにとの施主の思いで造られたものだそうです。小品ながら内外にわたる明解な空間構成に、皆さんの関心が集まっていました。



「ギャラリー小さい芽」

浦邸（非公開）は吉阪隆正設計の住宅で、1954年に設計が開始されたそうです。

同時期に建築された吉阪隆正の自邸は年を追うごとに手が加えられ変化し続けたそうですが、この浦邸は建設当時から姿を変えず、今も元気に住まい手の生活を豊かなものにしています。ピロティーのコンクリート床に線画が描かれており、これがとても表情があって楽しいものでした。ちょっとした工夫ですね。



「浦邸」 右下写真がピロティー床

移動時間が短いということで午前中に4軒もの素晴らしい建物の見学ができ、参加者の顔は満足げでした。

そろそろお腹も空いてきたところで一路昼食会場の北山緑化植物園に向かいました。

「お弁当タイムで～す。」

ぽかぽかとした日差しが心地よく、お庭でお弁当をほおばりながらおしゃべりをしていたら、あっという間に時間が過ぎてしまいました。



紅葉たけなわの植物園で和やかな昼食タイム

午後からは船坂へ足を伸ばすことに。

古材屋さんが解体を依頼された茅葺古民家を、武庫川女子大の学生たちが中心になって再生しているという現場を見学させていただきました。3人の学生さんが再生にかける思いや学びを情熱的に話してくれ、参加者はユニークな取り組みに熱心に耳を傾けました。古くなることで強度を増す木材。つぶしてしまうとそれまでだが生き返らせると豊かな空間になる。再生を自分たちで手がける若者集団に力強さを感じました。



茅葺古民家再生現場にて



その後、今年廃校になった木造の船坂小学校へ。
こじんまりとした木造校舎にはなぜかほっとする温かさが感じられました
廃校は残念ですが、これからも地域の活動の場として寄与し続けるでしょう。



「船坂小学校」

そろそろ日暮れに近づこうかという16時すぎに最後の見学先である六甲枝垂れ展望台に到着しました。三分一博志作の自然体感型として造られた展望台で、山の上に立つ一本の大きな樹をイメージして造られたのだそうです。ガラス張りの展望室に入るとヒノキのにおいがプーンとしてすがすがしく、とてもいい気持ちでした。

出来立ての展望台です。ぜひ皆さんも冬に足を運んで見られてはいかがでしょうか。“風と空の展望所”で座って空から落ちてくる雪を体感するのもなかなかおつなものだと思いますよ。



「自然体感展望台 六甲枝垂れ」

充実した1日を終え最終解散場所のJR六甲道に着いたときには気持ちのよい疲労感を覚えました。

H22年度たうんウォッチングアンケート結果

日 時 平成22年11月27日(土)
 見学場所 深江文化村富永邸、六甲枝垂れ (以上神戸市)
 旧山邑邸 (芦屋市)
 浦邸、ギャラリー小さい芽、北山緑化植物園、船坂 (以上西宮市)
 企画・運営 (社)兵庫県建築士会神戸支部情報企画委員会

スタッフを除く参加者43名のうち、34名が回答 (回答率 79%)

		神戸市民	士会会員	その他	合計	
参加者数		15	12	7	34	
性別	男	1	10	3	14	41%
	女	14	1	4	19	56%
	不明		1		1	3%
居住地	東灘区	1	1		2	6%
	灘区	1	1		2	6%
	中央区	2	0		2	6%
	兵庫区	1	0		1	3%
	長田区	2	1		3	9%
	須磨区	2	1		3	9%
	垂水区	3	1		4	12%
	西区	1	2		3	9%
	北区	2	1		3	9%
	その他		4	7	11	32%
年齢	20代	3	0	0	3	9%
	30代	0	0	0	0	0%
	40代	1	3	3	7	21%
	50代	3	4	4	11	32%
	60代	3	5	0	8	24%
	70代以上	5	0	0	5	15%
この企画を何 で知ったか	案内チラシ	0	0	0	0	0%
	すまいるネット広報	5	0	0	5	15%
	神戸新聞	4	1	0	5	15%
	建築士会のHP	0	3	0	3	9%
	会員からの案内	3	9	4	16	47%
	家族・知人から	3	0	3	6	18%
	その他	0	0	0	0	0%
今回の企画 はどうだった か	とても良かった	15	8	7	30	88%
	まあまあ良かった	0	4	0	4	12%
	ふつう	0	0	0	0	0%
	あまり良くなかった	0	0	0	0	0%
	良くなかった	0	0	0	0	0%
	理由	盛りだくさん、多彩、変化に富んだ見学地だった 個人で入れない建物の中を見学できた すばらしい家を見ることができてよかった 勉強になった 紅葉も美しかった 解説や他の人との会話が有意義だった 専門家がすぐ横で建物の魅力、見どころを教えてくれた お弁当付きで割安感がある 段取りよくまわれた 皆さん、親切だった				

今回の企画で悪かった点	バスの乗り降りに時間がかかった もう少しゆっくりと見学する時間があればよかった 件数が多かった。2件ぐらい見学地が少なくても良かったのでは 1カ所の見学時間が少なく、建物をもう少しじっくり見たかった 語りの人が、人のいる方に向かって説明していただければもっと良かった 古民家族の話 古民家での話が長かった。船坂地区が長かった バス、補助席の人がきのどくだった おやつのお手ふきが欲しかった お弁当とお茶がちょっと冷たかった。寒かった 帰りのバスは摂津本山まで行って欲しかった。車を置いていたので(奈良からの参加者)					
次回も参加したいと思うか	思う	15	12	7	34	100%
	思わない	0	0	0	0	0%
	分からない	0	0	0	0	0%
名前等記入		12	3	4	19	56%
今後行きたい場所や建物	西区あたりの建築物 個人では行きにくい所や内部が見学出来ない所 神戸市内が中心でしたが、もう少し足をのばした地域も行ってみたい 舞子近辺の建物(武藤邸など) 六甲ウォーリス山荘。六甲ゴルフクラブハウス。摩耶ホテル(みんなで渡れば怖くない!?) ポートタワー、鉄塔、橋、クレーン、工事現場。工事途中の見学 姫路城。城めぐり 美山町、伊根町、鯖街道、坂本、高島、大津 子供と一緒にハイキングしながら建物を見る(学校建築、廃墟とか) 古民家再び モダニズム建築 海外ウォッチング					
ウォッチング以外で土会に求める企画・テーマ	簡単な講座 漆喰塗りなど体験型企画 活躍中の建築家の講演。建築家や芸術家の講演会 スケッチ旅行					
その他意見・要望	スタッフに対するお礼とねぎらいのことば 内容が充実していてとてもよかった ハガキでもいいので、企画のお知らせをいただければ幸い 古民家は先人の生活・工夫がわかり、大変興味深い また楽しい企画をお願いします 歳はいっても知らないことや場所がたくさんあり、大変楽しく見学できてうれしかった 浦邸、深江文化村が秀逸					

平成22年度第1回法規講習会事業報告



平成22年度第1回法規講習会として、国土交通省が平成22年1月22日付けで発表し、平成22年6月1日から施行された建築確認手続き等の運用改善関係の改正を中心として、「改正省エネ法」「神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例の一部改正」「神戸市火災予防条例の最近の改正」についての講習があり、雨天という悪条件のなか、会員111名、非会員7名、合計118名の参加者にご来場いただきました。

主な内容として、以下の通りです。

①「建築確認手続き等の運用改善について」では、〈確認審査の迅速化〉

- ・ 確認申請図書の補正の対象の拡大
- ・ 確認審査と構造計算適合性判定審査の並行審査を可能とする
- ・ 軽微な変更の対象の拡大

〈申請図書の簡素化〉

- ・ 構造計算概要書の廃止
- ・ 建築設備に係る確認申請図書の簡素化
- ・ 建築材料、防火設備等に係る大臣認定の省略

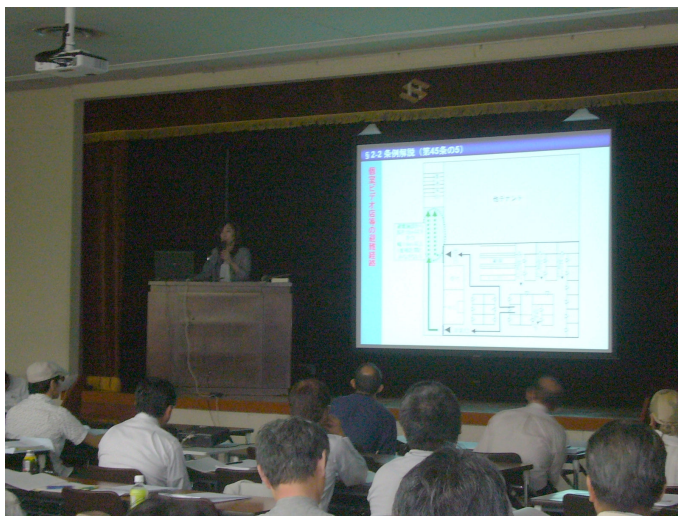
といった、より実務に近い所での施行規則、関係告示の改正で、興味深い内容となりました。

②「改正省エネ法の施行について」では、

- ・ 大規模な住宅、建築物（2,000㎡以上）に係る担保措置の強化
- ・ 一定の中小規模の住宅、建築物（300㎡以上 2,000㎡未満）も届出義務、定期報告の対象に追加

といった、より環境への意識の高い設計が求められるようになったこと。





③「神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例の一部改正について」では、近年、多数の死傷者を出しているカラオケボックスや個室ビデオ店での火災を背景とし、これら個室集合型店舗に対し、神戸市では全国に先駆けて、神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例を一部改正し平成22年7月1日より施行される規制強化される条例内容として、

- ・個室ビデオ店等とは
- ・個室ビデオ店等の廊下、避難経路、階

段、個室の定義の規制内容などを、例を交えながら解説していただきました。

④「最近の消防法令の改正について」では、神戸市火災予防条例の一部改正がありました。

- ・自主防火管理体制の強化
 - ・可燃性発砲樹脂の内装表示マークの掲出については、工場、作業所、倉庫という防火対象物の管理に対する規制の強化と、ウレタンパネル等のような可燃性発砲樹脂を使用した内装材の周囲にて火気を取り扱う場合には、火災予防上必要な措置として標識を掲出することの解説とともに、・消防活動上必要な情報提供ということで、FDカード（Fire Defense）：企業のリスクアセスメントにより、事業所の構造、設備、収容物品の危険性と災害時の対策等、潜在危険を把握するとともに、各事業所が自主的に消防部隊に提供するシステム。についての説明があり、
- 平常時の、従業員の防火や火気管理の意識の向上の啓発といった内容もありました。

日 時 平成22年6月18日(金) 13:30～17:00

場 所 兵庫県私学会館4階大ホール（神戸市中央区北長狭通4丁目3-3）

講習内容 ①「建築確認手続き等の運用改善について」

②「改正省エネ法の施行について」

③「建築物の安全性の確保等に関する条例の一部改正について」

④「最近の消防法令の改正について」

講師 神戸市都市計画総局及び消防局職員

受講料 会員 2,000円 非会員 3,000円

（当日徴収）

主催 （社）兵庫県建築士会神戸支部研修委員会

（社）兵庫県建築事務所協会神戸支部研修部 共催

平成 22 年度第 2 回法規講習会 事業報告

平成 22 年度第 2 回法規講習会として、神戸市の条例の改正内容を中心に講習が行われました。内容としては「神戸市すまいの環境性能表示について」「環境条例の一部改正について」「建築基準法（総則・防火避難規定）について」「消防同意について」の講習があり、今年一番の最低気温を記録するような寒い日でしたが、会員 79 名、非会員 2 名、計 81 名の参加者にご来場いただきました。 主な内容として、以下の通りです。



- ①「神戸市すまいの環境性能表示について」では、
- ・建築物の環境配慮の必要性
 - ・建築環境総合性能評価システム（CASBEE）の説明
 - ・すまいの環境性能表示の説明
 - ・すまいの環境性能表示を利用した場合のメリット
- など、一般市民への啓蒙的な意識が高い内容が豊富でした。

②「環境条例の一部改正について」では、

平成 23 年 1 月 20 日に施行された都市景観条例・施行規則についてお話下さいました。

歴史的な建築物や地域のシンボルとなっている建築物など重要な価値がある建築物が、より保全と活用が図れるように改正され、「景観形成重要建築物等」という制度の内容に追加が行われました。その制度の適用によって建築基準法の適用が除外されるといった建物の活用の方法に自由度が高まるといった内容で、歴史的建造物を積極的に活用できるようになります。





③「建築基準法（総則・防火避難規定）について」では、建築基準法の、集団規定や単体規定の基本部分そして、その判断基準について神戸市での確認審査基準と併せてお話下さいました。

特に、防火避難規定の今までの改正経緯については、建築物の防災について法の真意を知ることによって、建築物の利用者の安全に直結する

重要な部分を設計者として高いレベルで知識を維持し、向上させるいい機会となりました。

④「消防同意について」では、

・消防同意について、その流れと共に、神戸市火災予防条例の改正点と、その独自の規制についてを説明して下さいました。

他、防災計画、消防用設備の設置について取り扱いや、その判断基準、最近多くなった合わせガラスや、複層ガラスを使用したサッシの場合の無窓階計算での取り扱いといった、よく問い合わせが多い内容を中心とした講演でした。

日 時 平成 23 年 1 月 26 日(水) 13:30～17:00

場 所 兵庫県私学会館 4 階大ホール

(神戸市中央区北長狭通 4 丁目 3-3)

講習内容 ①「神戸市住まいの環境表示性能」について

②「景観条例の一部改正」について

③「建築基準法（総則・防火避難規定）」について

④「消防同意」について

講師 神戸市都市計画総局及び消防局職員

受講料 会員 2,500 円 非会員 4,000 円 (当日徴収)

平成 22 年度「歴史と環境を学ぶ会」の事業報告

去る 6 月 26 日（土）に、毎年恒例の「歴史と環境を学ぶ会」を開催しました。

本年度は、湖東三山と永源寺という企画で滋賀県へと行ってきました。

まず、午前中に永源寺を訪問し、ご住職より永源寺の歴史・周辺環境や同じ宗派の休禅師の言葉について説明を受けたのち、境内を各自見学しました。

午後からは、湖東三山を西明寺・金剛輪寺・百済寺の順番に訪問し、西明寺・金剛輪寺では、本堂内部の諸仏像の説明をして頂き、百済寺ではご住職による寺の成り立ちに加え、この地方の歴史についても説明を受けたのち、本堂内・境内・庭園を各自で自由に見学・散策しました。熱心なご住職のお話や思った以上に足に堪えた階段の昇り降りにより予定解散時刻をオーバーしてしまいました。今後の教訓とさせていただきます。

今回はこの時期に訪問しましたが、本来、この湖東三山と永源寺は紅葉の名所でもあります。機会があれば、紅葉の時期にも訪れてみては如何でしょうか。又、違った風情が味わえるかもしれません。

当日は、典型的な梅雨空のもと足元が悪いにもかかわらず、4ヶ寺訪問という厳しいスケジュールでしたが、多くの参加者に参加して頂いたことに心から感謝申し上げます。

日 時：平成 22 年 6 月 26 日（土）8：30～19：30

集合：神戸市役所北側花時計前 解散：三宮駅東ラウンドワン前

内 容：湖東三山と永源寺

永源寺 山門・本堂(方丈)・法堂・開山堂

西明寺 二天門・本堂・三重塔・本防庭園

薬師如来立像(秘仏)・二天王像・十二神将像

釈迦如来立像・不動明王及び二童子像

金剛輪寺 二天門・本堂(大悲閣)・三重塔

阿弥陀如来坐像・四天王像・十二面観音立像

百済寺 仁王門・本堂・本防喜見院庭園

如意輪観音半跏像・聖観音菩薩坐像・紺紙金泥妙法蓮華經

参加費：会員—5,000 円 非会員—7,000 円

参加人数：32 名（会員 26 名・非会員 4 名・事務局 2 名）



永源寺 本堂(方丈)



永源寺 住職のお話



永源寺 山門にて集合



西明寺 本堂



西明寺 三重塔



金剛輪寺 本堂



金剛輪寺 本堂にて



百済寺 本防喜見院庭園にて



百済寺からの琵琶湖方面眺望



百済寺 仁王門付近

スケッチパース教室 事業報告書

(社) 兵庫県建築士会神戸支部
研修委員会担当 安水 正

昨年に引き続き、10月2日(土)、10月30日(土)の2日間にわたり、神戸市勤労会館にて手描きパースの講習会を行いました。今回は、外観のパースに焦点を絞り、屋外(東遊園地)にも出て、実際の建物をスケッチするという趣向で行いました。今回もコラムデザインセンターの宮後先生と湯浅先生に講師をお願いしました。

1日目は、外観パースの起こし方ということで、勤労会館にて講習と実技であった。講師の宮後先生は、大変に慣れた口調で楽しく、ユーモアたっぷりに講習された。わずか、3時間程度の講習であったが、平面図より、みごとに立体化できるようになった。

2日目は、台風の影響で開催が危ぶまれたが、何とか進路がそれて、雨が降ることなく開催することができた。ただ、少々、欠席者が目立ったのが気になるところであった。朝から東遊園地に行く予定であったが、雨が降るかもしれないということで、午前中は、勤労会館で樹木の着色のしかたの勉強をした。そして、昼から東遊園地でスケッチ。曇り空ながら、快適にスケッチすることができた。2時半に勤労会館に戻り、今度は建物に着色する練習。まずは、先生の見本で、短時間でみごとに仕上げられた。その後、受講生により、実際に着色の練習をして、最後に総評で無事、終了。受講生からは、とても役に立った、楽しかったと好評でした。

受講生、スタッフの皆様、お疲れ様でした。とても情熱的に楽しく教えていただきました宮後先生と湯浅先生に深く感謝致します。



- タイトル 「スケッチ・パース教室」
- 目 的 最近になって、パソコンが普及して、建築のプレゼンテーションは、ほとんどがCGにより行なわれるようになった。その結果、誰でもが手軽に描けるようにはなったが、画一的になってしまい、設計士としての個性、手法が失われつつある。そこで、手描きによるスケッチ・パースの良さを見直し、クライアントの前で手軽に自己表現できるプロの手法を学び、実践に生かす。
- 昨年、手描きパースの基礎を学んだが、今回は、さらに外観パースの描き方を屋外に出て、レベルアップさせ、実践に役立つ知識、技術を学ぶ。
- 講 師 コラムデザインセンター講師（宮後 浩 先生、湯浅 禎也 先生）
- 内 容 フリーハンドによりマーカー、色鉛筆などで手軽にできるスケッチ・パースの手法を学ぶ。実社会で活躍されているプロのデザイナーを講師として招く。
- 第1日目 外観パースの起し方
第2日目 樹木の着色の仕方、建物のスケッチ(東遊園地)、建物の着色のしかた
- 対 象 兵庫県建築士会会員、非会員
- 受 講 料 第1日目：会員 2,000 円 非会員 3,000 円（当日徴収）
第2日目：会員 4,000 円 非会員 6,000 円（当日徴収）
- 日 時 平成 22 年 10 月 2 日(土) 13:00～16:00
10 月 30 日(土) 10:00～12:00、13:00～16:00
- 場 所 神戸市勤労会館
<http://www.kobe-kinrou.jp/shisetsu/kinroukaikan/index.html>
神戸市中央区雲井通 5 丁目 1-2 TEL：078-232-188
- 参加人数 第1回 会員：17 人 非会員:5 人 計 22 人
第2回 会員：16 人 非会員:3 人 計 19 人
- 収支報告 別紙の通り

「出来ました！私たちのマンション耐震改修」セミナー報告書

阪神淡路大震災以降、神戸市内で毎年行われている耐震キャンペーンの一事業として一般市民の方々（主にマンションの管理組合）を対象に去る11/13（土）神戸市長田区の高取台中学校で行いました。震災以降市民の方々の地震に対する防災意識も格段に高まっていますが旧耐震基準で建設された共同住宅などは、住民間の合意形成などの困難な作業がネックとなって耐震改修が実現していないのが現状です。

その中で神戸市内で唯一耐震改修を実現された高取台サンハイツ管理組合法人のご協力のもと、今回のセミナーの開催にこぎつけられたことは熱心な管理組合の方々のご協力があればこそと、心より感謝の気持ちでいっぱいです。

平成12年より足かけ約10年の長期にわたり耐震改修工事完了に至るまでの経緯をお聞きすると、並々ならぬ管理組合の努力と熱意がうかがえます。

具体的な作業、交渉調整等は書き留めればきりがありませんが、その多数の賛否両論の事柄をまとめていく中で共通して感じたことはやはり日常の各住民間のコミュニケーションがスムーズに図られていることが今回の耐震改修実現のキーポイントであると感じました。

共同住宅は多数の住民が一の建物の中に生活を営んでいるわけですが、日常では共同で住んでいる意識は感じられないのが通常で各々が独立した生活スタイルを送っています。

しかし建物の維持管理などは共同の意識で物事に対処していかなければならず、ある意味自己の生活時間、スタイルを犠牲にして対処することも必要になってきます。





その場合に普段からのコミュニケーションが図られている共同住宅とそうでない共同住宅とでは事の進行状況、また合意形成過程に大きく影響を及ぼすであろうと思われます。

これから耐震改修をお考えの管理組合の方々にはこれらのことが大変参考になったのではないのでしょうか？
また耐震改修の設計、及び施工状況のスライドを通して映写したことで耐震改修の企画立案から完成までのおおよその流れも把握出来たと思いますのでこれから企画進行していくイメージ作りの参考となったのではないかと思います。

今回のセミナー内容を参考に一例でも耐震改修物件が増え、安全な街並みが形成されていくことを期待しております。

研修委員会委員長
常峰 博文

実施日時：2010年11月13日（土） 13:00～16:00

開催場所：神戸市長田区高取山町1-1 高取台中学校 及び
神戸市長田区上池田3-17-8 高取台サンハイツ

参加費用：500円：会員・非会員（一般市民も含む）共

共 催：神戸市住まいの安心支援センター「すまいるネット」

協 力：高取台サンハイツ管理組合法人

柴田建築設計事務所



株式会社 新井組

神戸市

兵庫県住宅再建共済基金

事業報告シート								
事業分野	もの・まち・くらし・その他				作成日	平成23年2月22日		
事業名称	青年部会ブログ							
開催日時	平成22年2月より				開催場所			
ふりがな	(しゃ)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい							
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会							
事業の目的	<p>青年部会の活動を多くの方に知っていただき、興味をもってもらうこと。 青年部会員の生の声を届けることでより親しみやすく感じてもらい、新規会員の獲得につなげていけるのではないかと考えている。</p>							
主な事業内容	<p>(概要) イベントの告知、活動報告など</p> <p>(詳細) 青年部会主催のイベントの告知や活動報告を形式ばらず、会員の思いや感想とともに楽しく伝える。 また青年部会としての活動や建築士としての活動に限らず各々の仕事やプライベートで興味のある出来事など、幅広い情報を提供することで個性あふれ、興味をもってもらえるブログとなるよう心掛けている。 今後は「面白い建築」などテーマごとに情報をまとめ、データベース化していく等の事業に発展できればと考えている。 現在57回更新している。</p>							
事業予算収支	収入							
	支出							
	計							
参加予定者	内訳	青年会員	一般会員	会員外			その他	合計
	人数	16						16
建築士の関り	<p>日々の生活の中で建物や街並みを美しいと感じたり、おもしろいと感じる「建築士ならではの目線」を伝えていければいいと思います。</p>							
検討課題	<p>「全員1月に一度更新すること」を目標にスタートしたが、自分も含めできなかった。 現在は2か月に一度はそれぞれが書き込むことを目標としているが、少しペースダウン気味となっているので、建築に関わることに限定せず、できるだけ多く書き込んでいくようにしたい。</p>							
連携・協力組織等								
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>プレーパークプロジェクト /活動報告(荒川さんのブログより)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>アメリカ・メキシコ建築ウォッチング /建築について(山口さんのブログより)</p>  </div> </div>								
事業担当(報告)者	山下 朋代 (青年部会)				事業責任者	荒川 直樹(青年部会長)		
事業担当者連絡先	090-3719-2885				神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エケル山手2F		
事業担当者 E-mail	tk55319@gmail.com				青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen		

事業報告シート								
事業分野	もの・まち・くらし・その他				作成日	平成23年2月22日		
事業名称	青年部会旅行							
開催日時	平成22年4月 17日(土)				開催場所	淡路島周遊		
ふりがな	(しゃ)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい							
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会							
事業の目的	青年部会員の交流と親睦を図る為、部会旅行を計画致しました。							
主な事業内容	<p>(概要)淡路周遊(北淡野島断層記念館 うずしお記念館 福良津波ステーションなどを見学)</p> <p>(詳細)三宮集合で明石港よりたこフェリー乗船で淡路島へ北淡野島断層記念館見学し、今淡路で熱い牛丼を昼御飯に頂き南淡路のうずしお記念館・福良津波ステーションの見学をし松葉寿司にて晩御飯を頂き三宮で解散でした。</p> <p>(内容)明石海峡大橋が便利で使い勝手が良くなり、明石のたこフェリーが無くなる前にみんなに船の良さも満喫して欲しかった。それとこの旅行中に参加者のフォトコンテストも行いました。青年部会員のみんなで投票して優秀賞を決定しました。これからも色々な企画していけば面白いと思います。</p>							
事業予算収支	収入 支出 計							
参加予定者	内訳 人数	青年会員 8	一般会員	会員外			その他	合計 8
建築士の関り	地震後15年経ちみんなの記憶より消えかけているこの時期に、再度確認する為に震源地を確認し淡路の復興の確認をしたいと考えた。							
検討課題	淡路も調べてみると結構見所ありでした。今回は、日帰りで詰め込み過ぎで少し時間オーバー気味でしたもう少し内容の確認して計画したいです。							
連携・協力組織等								
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">写真コンテスト優秀賞「潜水°感。」 福良津波ステーション</p>								
事業担当(報告)者	山本 幸治 (青年部会)				事業責任者	荒川 直樹(青年部会長)		
事業担当者連絡先	090-9867-0459				神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エクセル山手2F		
事業担当者E-mail	y.koji@kuroda-sekkei.jp				青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen		

事業報告シート								
事業分野	もの・まち・くらし・その他				作成日	平成22年5月10日		
事業名称	神戸支部総会 特別講演会							
開催日時	平成22年4月24日(土)14:30～16:30				開催場所	産業振興センター		
ふりがな	(しゃ)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい							
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会							
事業の目的	<p>広く参加者を募ることにより、建築士会の活動を多くの方へ知っていただく場面としたい。現会員の方への、士会活動参加へのきっかけづくり。(特に青年層に対して)活躍されている講師の先生の講演を聞くことにより、個々の意識の向上につなげる。</p>							
主な事業内容	<p>『近作について』というタイトルでの特別講演会</p> <p>岸和郎氏の近年の講演会に関しては統一タイトルとの事で決定しています。 総会の後の特別講演会の企画、運営。</p>							
事業予算収支	収入	¥201,390 支部補助(201,390) 参加費無料						
	支出	¥201,390 講師謝礼、交通費他(111,610)ポスター作成費等(72,180)ポスター貼り込み時などの交通費(14,100) 控室代(3,500)						
	計	±0						
参加予定者	内訳	青年会員	一般会員	会員外			その他	合計
	人数	13	58	8			0	79
建築士の関り	<p>著名な建築家の選出から始まり、事務所へのオファー、回答を得るまでの過程を通じ、他の事務所の対応や建築家との関わり方等、日々行う業務に於いても、学ばべき要素が多い機会と考え、この事業を行ってきました。</p>							
検討課題	<p>学生、一般の方への広報方法 会員拡大、現会員の方の今後の活動参加拡大への広報活動。 集客の望める建築家の選定方法</p>							
連携・協力組織等								
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>								
事業担当(報告)者	佐々木 康行(青年副部会)				事業責任者	荒川 直樹(青年部会長)		
事業担当者連絡先	090-4285-2267				神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エクセル山手2F		
事業担当者E-mail	y-sasaki@do-kobe.jp				青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen		

事業報告シート								
事業分野	もの・まち・くらし・その他				作成日	平成23年2月22日		
事業名称	プレゼンテーション研修							
開催日時	平成22年6月12日(土)14:00～				開催場所	神戸国際会館 401号会議室		
ふりがな	(しゃ)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい							
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会							
事業の目的	「プレゼンテーション力の向上」聞き手が理解しやすい説明のテクニックを学ぶことがこの事業の目的である。 ・話の構成の仕方を知り、説得力を増すことができる ・言語/非言語の効果的なアプローチを知り、表現力を高めることができる ・発声や滑舌のポイントを練習し、ひきつける声を確認する							
主な事業内容	(概要) 受注率Up間違いなしのプレゼンテーション研修 (詳細) ・1分間プレゼンテーション(話し方・表情・発声・声の大きさ・ジェスチャー等) ・印象が変わる 発声・滑舌トレーニング(講義・ワーク) ・相手の脳と心に働きかける 表現力トレーニング(講義・ワーク) ・効果的な話の組み立て方(講義・ワーク) ・情報編集力トレーニング(ワーク)							
事業予算収支	収入	¥120,290 支部補助(94,290) 参加費(8人x1,000+9人x2,000 = 26,000円)						
	支出	¥120,290 講師謝礼(80,000) 雑費(会議室使用料、資料代他)(40,290)						
	計	±0						
参加予定者	内訳	青年会員	一般会員	会員外			その他	合計
	人数	9	8	9				26
建築士の関り	建築士にとって最も重要なスキルの一つがプレゼンテーション力。それを向上させることによって自信を持って実力を発揮できるようにするための勉強会の開催。							
検討課題	通常、高額な勉強会であるが、建築士会へのボランティア精神で了承いただいた。今後もこのような普段受けたいが中々参加にはハードルの高い勉強会を開催させていきたい。							
連携・協力組織等	協力: コミュニケーション オフィス クレハ							
活動状況写真								
事業担当(報告)者	山口 悟			事業責任者	荒川 直樹(青年部会長)			
事業担当者連絡先	090-6324-0799			神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エクセル山手2F			
事業担当者E-mail	satoru.gucchi@yahoo.co.jp			青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen			

事業報告シート								
事業分野	もの・まち・くらし・その他				作成日	平成23年2月25日		
事業名称	親睦バーベキュー							
開催日時	平成22年5月30日				開催場所	ポートアイランド北公園		
ふりがな	(しゃ)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい							
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会							
事業の目的	バーベキューを通して建築士会神戸支部の親睦を深める。 建築や建築士会についての意見交換をする。							
主な事業内容	(詳細兵庫県建築士会神戸支部青年部会もしくは建築士会神戸支部のメンバーがポートアイランド北公園に集合しAM11:30頃よりPM3:00頃までバーベキューを行った。							
事業予算収支	収入 支出 計							
参加予定者	内訳 人数	青年会員 9	一般会員 3	会員外 4			その他	合計 16
建築士の関り	気楽に意見交換をできる機会を設けることにより、建築への関心や建築士会の活動への意欲を高める。							
検討課題								
連携・協力組織等								
								
事業担当(報告)者	奥田 智恵子 (青年部会)			事業責任者	荒川 直樹 (青年部会長)			
事業担当者連絡先	090-7881-6178			神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エクセル山手2F			
事業担当者 E-mail	chieko@wabisiki-arc.jp			青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen			

事業報告シート								
事業分野	もの・まち・くらし・その他				作成日	平成22年11月16日		
事業名称	六甲山 三分一 博志(さんぶいち ひろし)設計の新展望台まで登山をしよう							
開催日時	平成22年11月 6日(土)				開催場所	六甲山ガーデンテラス内展望台		
ふりがな	(しゃ)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい							
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会							
事業の目的	六甲山を登山し、自然を満喫した後、その六甲山の自然をイメージして設計された、新展望台見学を行い、自然との調和に付いて体感する。 (意外と登った経験者が少ないため、あえて事業計画として六甲登山を盛り込みました。)							
主な事業内容	<p>(概要)六甲山を2時間位 登山(ハイキング)し、六甲ガーデンテラス内、六甲山新展望台を見学。</p> <p>(詳細)六甲ケーブル下より出発、油コブ道を通って六甲ガーデンテラスまでハイキング(約2時間 初心者でも歩けるコースです。)六甲ガーデンテラスにて、昼食(お弁当)後、展望台を見学、30分ほど下山し、六甲ケーブル六甲山上駅に到着、ケーブルにて、六甲ケーブル下駅まで下山、解散。</p>							
事業予算収支	収入	¥42,000 支部補助(36,000) 参加費(10人x500+1人x1000 = 6,000)						
	支出	¥42,000 事前視察費(2,880) 保険代(3,360) 交通費(3,420) 弁当代(16,907)						
	計	± 0 入場料(3,300) 買出し交通費(4,810) 雑費(資料作成、記録費)(7,323)						
参加予定者	内訳	青年会員	一般会員	会員外			その他	合計
	人数	8	2	1				11
建築士の関り	自然や町と調和の取れた、建物を形作っていいことが建築士の役割と考える中、今回の事業を通して、それらのことを再認識する機会になればと思います。							
検討課題	登山という表題を付けたため、少し敬遠された感が強く、参加者が集まらなかった。実際は、ハイキング程度のコースであり、女性でも、簡単に気持ちよく歩けたとおもうので、またこのような企画を行う場合は、気楽に参加できるということを前面にだし、参加者を募りたいと思います。							
連携・協力組織等								
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>								
事業担当(報告)者	野口 直人 (青年部会)				事業責任者	荒川 直樹(青年部会長)		
事業担当者連絡先	090-3722-1514				神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エケル山手2F		
事業担当者 E-mail	noguchi525@yahoo.co.jp				青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen		

事業報告シート								
事業分野	もの・まち・くらし・その他				作成日	平成22年11月10日		
事業名称	建築セミナー							
開催日時	平成23年2月12日(土)				開催場所	奈良		
ふりがな	(しゃ)ひょうごけんけんちくしかい こうべしづ せいねんぶかい							
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会							
事業の目的	建築物(地域)の見学を通じて、建築士としての意識向上、会員交流をはかる。							
主な事業内容	奈良近辺の施設を見学をする。 ・奈良学園 新しい教育制度を取り入れている(3+4-4-4制度) 最新の学校施設を見学 ・大和文華館 桃山時代をイメージさせるなまこ壁の建物 美術館と文華ホール(辰野金吾によって設計された奈良ホテル・ラウンジの一部を移築)を見学 ・一徹長屋(昼食場所) 伝統工芸のアトリエ併設(5アトリエ)							
事業予算収支	収入	¥253,420 支部補助(150,920) 参加費(102,500 会員 ¥3,500x23 会員外 ¥5,500x4)						
	支出	¥253,420 調査費(22,650) 交通費(120,120) 保険(2,120) 飲食代(69,120) 入場料(30,240) 雑(9,170)						
	計	±0						
参加予定者	内訳	青年会員	一般会員	会員外			その他	合計
	人数	5	23	4				32
建築士の関り	建築士として、古い建物、最新のシステムを導入した建物、または伝統工芸というものを体感し、同じものづくりをするものとして今後の活動にいかせるのではないかな。							
検討課題	より一層、魅力のある施設、建物を見学先で段取りできるかな。							
連携・協力組織等								
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>								
事業担当(報告)者	佐々木・野口 (青年部会)				事業責任者	荒川 直樹(青年部会長)		
事業担当者連絡先	090-4285-2267				神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エクセル山手2F		
事業担当者E-mail	y-sasaki@do-kobe.jp				青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen		

Vo' 4 神戸支部青年部会 活動報告

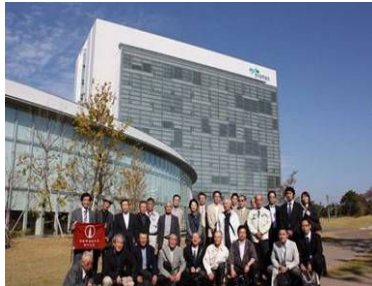
～ 互いに高め合える建築士の集団を目指して ～

神戸支部は会員数が約650名、その中でも選りすぐりの元気でやる気に満ちたメンバーが青年部会員として活動を行っております。

年間に6から8事業、趣向を凝らした面白い企画を行っており、またブログ等を活用しながら日々の活動も発信し、少しでも私たちの事を知ってもらい、仲間を増やそうと努力しております。

平成22年度神戸支部青年部会長 荒川 直樹

青年建築士たちの挑戦
今、私たちにできること



神戸企業探訪 シスメックス



福良防災ステーション見学



プレパーク活動



青年部会写真コンテスト最優秀作品



セミナー旅行 犬島アトリエプロジェクト



工場見学会 新日本製鐵(株)広畑製鐵所



異業種勉強会 プレゼンテーションセミナー
神戸支部青年部会ブログ URL: <http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen>



六甲山の展望台まで登山



特別講演会「中村好文氏」

□□□神戸支部青年部会員より一言



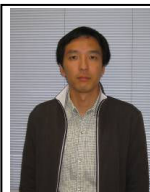
神戸支部青年部会長 荒川 直樹(株式会社アラカーサ 代表)

社名である a l i a C a s a とはスペイン語で「家に」という意味を持ちます。誰もが自然と家へ向かい、集まってくる。そんな上質な空間づくりをめざして、日々住宅を中心に設計、施工を行っております。そんな、私がわいわいと建築談義が出来る仲間、それが建築士会です。



神戸支部青年部顧問 湖亀 一登(株式会社黒田建築設計事務所勤務)

建築に対して堅牢・広大・端整そして時には遊びを取り入れることを考えています。しかし、根がなにも商人のこせがれなので、つつい安くつく方向へ走ってしまう。写真の建物はRCの柱型で堅牢さを、大屋根で広大さを、壁面の仕上高さを揃えることで端整さを、大庇の支え方に遊びをうまく取り入れることができたと思っています。



神戸支部青年部副会長 佐々木 康行(株式会社ディ・オー級建築士事務所勤務)

建築士事務所に勤務し、設計業務に携わっております。図面を作成するだけでなく、企画・立案、事業計画(収支なども)図面作図、アフターフォローまで幅広く担当を行い、「お客様の成功が、私の成長・発展につながる」を合言葉に日々頑張っています。建築士会で活動することにより、情報の収集であったり、新たな仲間づくり、自分自身の現状の確認などより一層、有意義な時間を過せるようにしていきたいです。



神戸支部青年部副会長 野口 直人（株式会社渡邊工務店 勤務）

建築士の資格を取り、とりあえず入った建築士会、ほとんど活用していなかったのですが、法律が変わっていく中、少し情報がほしいなと入った青年部会で、情報以上のいろいろなものを得ることが出来ました。それらを活かして、建築士会の建築士として、これからの自分の仕事やその他の活動に取り組んでいきたいと思ひます。



神戸支部青年部副会長 大塚 正（大塚建業株式会社 勤務）

15年前、阪神淡路大震災をリアルに経験し、その時建築士の人達が応急危険度判定を行っていたが、全く大丈夫な建物でも、ろくに調べもせず見た目だけで簡単に赤紙（倒壊の危険”大”の意味）を貼って行った。今、自分がその建築士の資格を持って、建築士会で活動しているとは、15年前の私には夢にも思わなかった。



神戸支部青年部 山本 幸治（株式会社黒田建築設計事務所勤務）

新築・耐震関係の構造設計の仕事をしています。青年部会で活動を始め3年程度とまだ浅いですが、これからも出来る限りの事業に参加して色々な事との出会いを大切に今後役に立てたいです。今後ともよろしくお願いします。



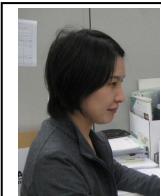
神戸支部青年部 佐伯 亮太（株式会社土城設計 勤務）

青年部会は、若手の集まりですので、気楽に建築に携わる、さまざまな人と出会う場所として活用されてはいかがでしょうか？今年度は特別講演会事業を担当いたします。話題の建築家と鋭意交渉中ですので、ご期待ください！



神戸支部青年部 山本 幸司（山本建築設計事務所 代表）

デザインコンペ（作品写真）ENEOS 太陽光発電パブリックアートコンテストで、「晴時々雨後発電」という作品で応募させていただいた結果、入選することが出来ました。テーマとしては、「アート性」と「エネルギー性能」が調和した公共の空間等にふさわしい太陽光発電システムを用いた「パブリックアート」デザインの募集に対しての作品です。



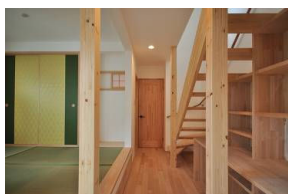
神戸支部青年部 寺田みさと（株式会社黒田建築設計事務所勤務）

昨年に産休から職場復帰し、育児・仕事と頑張っています。私にとって建築は単なるハコモノではなく人々の暮らしがあるという前提のもとに成り立つものであり、一度建ってしまうと、長ければ何十年と存在し続けるものだと思っています。その存在が自分たちの子供にとって良い影響を与えるものであって欲しいとの思いで、仕事を続けています。士会で出会う人々との交流がとても良い刺激になっています。



神戸支部青年部 山口 悟（有限会社榎本設計 勤務）

マンションなどの構造設計をてがけ、構造設計一級建築士の取得を目指して頑張っています。建築全体をトータルに考えて仕事していきたいです。事業後の、参加して頂いた方に喜んでもらった時がとてもうれしいので、いろいろな事業に取り組んでいきたいです。



神戸支部青年部 奥田（一級建築士事務所わびすき 代表）「写真左」
神戸支部青年部 山下（一級建築士事務所わびすき 勤務）「写真右」

出産、自邸建設を機に独立した奥田と、スタッフ山下で、たくさんのひとが心豊かに暮らせるように、をモットーに設計活動しています。青年部会員としてはまだまだ新米ですが、出産、育児等で第一線を離れている女性メンバーの穴を埋めるべく奮闘中。

□□□その他の神戸支部青年部メンバー紹介

■井内 敏子 専業主婦

■小笠原志野 勤務先：株式会社兵庫確認検査機構

■岩谷 彩織 勤務先：株式会社宮下

■中田 匡彦 勤務先：匡工務店 代表

神戸支部青年部会の活動は、多くの方が参加できるイベントや講演会を企画・開催されています。特に、著名人を招いての講演会開催にはその準備と運営を考えると相当な時間と労力を要するのですが、部会員のやる気あってこそその事業であり見事に実現されています。

また、支部の範囲にとどまらず他支部との交流・情報交換も行われています。是非、今後の神戸支部青年部会の活動にご注目ください。

（情報委員会：安田和人）

「この二年間を振り返って」

青年部会 部会長 荒川直樹

この二年間の任期で多くの良い経験と、素晴らしい先輩、仲間に出会う事が出来ました。そして、こんな私が重責を無事終える事が出来たのは、これまで出会った人たちを含め、皆様の御協力あつての事だと、心より感謝申し上げたいと思います。

この間での印象的な出来事の一つが青年部会内でのおめでたの多さです。今後もまだまだ増えていきそうです。これだけ少子化の時代に珍しいことだと思いますが、それだけ心身共に、健康で充実した人達が集まっている証拠ではないでしょうか？そんな委員達は公私共に多忙な中、積極的な意見と行動力で多くの事業を遂行してくれました。

そして、高いモチベーションを質の高いパフォーマンスに変えるシステムも出来つつあると思います。この仕組みがきっとこれからの神戸支部の力となってくれると信じています。

今後は、更なる成長をし続ける青年部会で有る事を願いつつ、次なる人達にバトンを渡したいと思います。そして、これからも微力ながら青年部会の為に協力をさせていただきたいと思っております。

本当に二年間有難うございました。

編集後記

来年度50周年を迎えるにあたり、最近ではカメラを持ち歩き色々と写真を撮る様にしております。普段車に乗っていると気が付かない事も、歩く事で発見出来る事があります。下の写真は、そんな時に撮ったもので、湊川駅と兵庫区役所を繋ぐ地下道の壁面に描かれていた絵です。1955年(昭和30年)の湊川公園西側の風景を描いたものです。



現在の面影はトンネルのみで、私自身見た事がない神戸タワーと神戸市電が描かれております。今でも仕事で打合せをしていると、「あそこの市電筋の所や」と言う言葉がたまに出て来る事があります。市電の記憶がない私としては返答に困る事があり、言ったご本人は、私が市電を知らないと聞くと苦笑いをしておられます……

普段当たり前に見ている風景ですが、数十年後に「あそこの湊川トンネルの所や」と言っても話が通じるでしょうか？ また、このばねるを開いてみて、写っている街並みは残っているでしょうか？ 見慣れた街並みが無くなると想像だけで寂しい気分になります。建物だけでなく、普段見慣れた街並みを残す大事さに気が付いた瞬間でした。

(久宝 弘幸)